



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

東京都立大学

子育てと教育政策の 経済学

2025 年度 東京都立大学経営学研究科
経済学プログラム (MEc) シンポジウム

◇講演者(登壇順)

講演1 山口慎太郎教授 (東京大学)

少子化対策を超えて一社会を変える子育て支援



講演2 赤林英夫教授 (慶應義塾大学)

経済学で考える高校授業料無償化政策と
高校入試制度



◇開催日時

2025年11月15日(土) 14:00~17:00 (13:30開場予定)

◇会場

AP東京丸の内

(東京都千代田区丸の内1丁目1-3
日本生命丸の内ガーデンタワー 3F)

◇定員

80名

※参加無料/事前申込制



参加ご希望の方は、MEcシンポジウムホームページに
掲載の専用フォームからお申し込みください。

<https://www.biz.tmu.ac.jp/research/seminar/symposium/>

大学院進学にご関心のある社会人、学生の方を含め、
広く一般の皆様にもご参加いただけるシンポジウムです。

【お問い合わせ】MEc シンポジウム事務局 tmumecsympo@tmu.ac.jp



「子育てと教育政策の経済学」 詳細

＜プログラム＞ 司会：渡辺 隆裕（東京都立大学大学院 経営学専攻経済学プログラム）

14:00 開会のあいさつ 松岡 多利思（東京都立大学大学院 経営学専攻長）

14:10 **講演 1** 「少子化対策を超えて—社会を変える子育て支援」
山口 慎太郎 教授（東京大学）

日本の少子化は、経済や地域社会、そして私たちの将来設計にも影響を及ぼす深刻な課題です。子育てにかかるお金や時間、キャリアの中断といった負担の大きさ、教育熱や孤立感など、少子化の背景には多くの現実があります。

本講演では、こうした背景をデータに基づいて読み解きながら、従来の少子化対策（児童手当や保育所整備など）の成果と限界を明らかにします。そのうえで、男性の育児参加促進や保育・幼児教育への投資といった「社会を変える」アプローチの可能性を紹介し、子どもを育てやすい社会をどう築くかを一緒に考えていきます。

討論者：暮石 渉（東京都立大学大学院 経営学専攻経済学プログラム）
（講演50分/ディスカッション10分/質疑応答10分/計70分）

15:20 ～休憩～

15:30 **講演 2** 「経済学で考える高校授業料無償化政策と高校入試制度」
赤林 英夫 教授（慶応義塾大学）

日本では、長く続く経済不況に伴う教育格差拡大への懸念から、家庭の経済状況によらず高校や大学等への進学希望を叶えることが政策課題となっています。高校授業料無償化政策は2010年に就学支援金の形で始まっていましたが、今年2月に、今年度から公立私立で支援にかかる所得制限が撤廃、来年度には私立向け支援が45万7000円へ増額されることが、政治的に決定しました。経済学では、私立学校の授業料への公的支援は学校の選択肢を広げ、学校間での競争を促し、教育の質の向上をもたらすはずと、一部の経済学者から主張され、長い論争の歴史があります。

本セミナーでは、近年の研究を踏まえ、日本における高校無償化政策の意義と課題を議論し、今後の政策展開に向けた展望を行います。

討論者：菊地 信義（東京都立大学大学院 経営学専攻経済学プログラム）
（講演50分/ディスカッション10分/質疑応答10分/計70分）

16:40 東京都立大学大学院 経済学プログラムのご案内
田中 敬一（東京都立大学大学院 経営学専攻経済学プログラムディレクター）

17:00 閉会

program